

# 1. 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 2991700028        |            |  |
| 法人名     | 有限会社 在宅介護サービス 応援隊 |            |  |
| 事業所名    | グループホーム 安堵園       |            |  |
| 所在地     | 奈良県生駒郡安堵町西安堵570-1 |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和2年6月21日         | 評価結果市町村受理日 |  |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人Nネット        |
| 所在地   | 奈良県奈良市高天町48番地6森田ビル5階 |
| 訪問調査日 | 令和2年7月20日            |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

自立、自由、尊厳、つながりを理念としており、嫌がられることをしないを基本に、地域と共に支え合いながら、生きがいのある生活、その人らしく安心と尊厳のある生活を大切に、家庭的な温もりの中で自立した生活が出来るようにお手伝いしていきます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

事業所は町の中心部に位置し、木造2階建の1階と2階に1ユニット9名のホームであり、近くには町役場やカルチャーセンター、図書館などの社会資源がある。町が主催する夏祭りや敬老会などに参加したり、ボランティアを受け入れたりして、地域の方との交流を図っている。食事は手持ちの食材で利用者の希望を聴きながら、職員がすべて手作りしている。入浴は、週2回事業所であるほかに、週に1回デイケアに通って大きなお風呂で温泉を楽しんでいる。「自立、自由、尊厳、繋がり」の4つの理念を掲げ、理念に沿って利用者が地域で安心して楽しく暮らせるよう支援している事業所である。

**・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目   | 取り組みの成果<br>該当するものに印   | 項目  | 取り組みの成果<br>該当するものに印   |
|--|---|---|---|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

## 自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。

| 自己              | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                 |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |  |  |  |                   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 「自由・自立・尊厳・繋がり」という理念に基づき、入居者様それぞれの意思を尊重しながら、職員それぞれが考慮し、行動しています。   | 事業所の4つの理念を、パンフレットに分かりやすく明記している。毎月行われるカンファレンスで理念を共有し、具体的に利用者に対する日々の言葉遣いや対応に活かせるよう取り組んでいる。                         |                   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している                            | コロナ禍で交流を止めていますが、普段は民謡・ギター演奏・ハンドベル等、地域のボランティアさんが定期的に来て下さいます。また、例年は中学校の職業体験学習の受け入れも行っており交流しています。             | 自治会に加入し、職員がクリーンキャンペーンに参加している。また、毎年盆踊り大会や敬老会、芋煮会などの地域行事に参加したり、地域ボランティアの受け入れを行っている。今年は新型コロナウイルスの影響で、地域との交流が途絶えている。 |                   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | コロナ禍においてはやむを得ず制限をしていますが、基本的には入所希望の方や見学を希望されている地域の方々にはホームでの様子を自由に見て頂いています。また地域の方の介護に関する相談を受けれるように体制を整えています。 |  |                   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | コロナ禍でも対策をとり2ヵ月に一回の開催を継続しています。会議では入居者様のご様子・行事予定等を報告しています。ご利用者や、地域代表の方、行政の方と意見交換を行っています。                     | 運営推進会議は、新型コロナウイルス感染予防対策をして、町担当課職員、地域包括支援センター職員、地域代表者、家族が参加し、2ヶ月に1回開催している。事業報告だけでなく、感染症対策や防災のことなどについても話し合っている。    |                   |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 健康福祉課・地域包括支援センター・社協がすぐ近くにあることで、報告・連絡・相談を綿密に行うことが出来ています。  | 事業所のすぐ近くに町役場があり、同じ建物内に地域包括支援センターもある。利用者の受け入れや介護保険制度、感染症対策などを気軽に相談している。また、生活保護の利用者について、担当課と密に連携して支援している。          |                   |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアについては研修を通して学んでいます。防犯上、安全確保の観点より玄関は施錠しています。散歩等を希望されるときは職員が付き添い安全を確保しています。                         | 身体拘束をしないケアの取り組みを契約書に明記している。玄関は施錠しているが、利用者が外に出たいと希望したときは、職員が付き添い付近を散歩している。職員研修では、身体拘束だけでなく言葉による拘束についても学んでいる。      |                   |
| 7               |     | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 事業所内で虐待は全くありません。またカンファレンスにて虐待についての研修を行い、スタッフ一人一人がどのような行為が虐待・拘束であるかを知ること、防止に努めています。                         |  |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|----|-----|---|--|--|--|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 8  |     | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 必要な入居者様に対して支援を行っています。また研修を行うことで職員も制度の理解を深めています。  |  |  |
| 9  |     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | 時間をかけて十分な説明を行っており、疑問点や不安なことはしっかり伺っています。また、後日改めて疑問点が出た場合にも丁寧に聞かせて頂いています。                  |  |  |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 家族様とは面会時、また電話にてご様子をお知らせすることで、新たなご要望をして頂き易いようにしています。 玄関に意見箱を設置しています。                      | 新型コロナウイルス感染予防のため、家族と利用者との直接の面会を自粛している状況であり、そのためオンラインでの面会を実施するとともに、家族と電話で密に連絡を取り要望などを聴いている。なお、定期的な家族とのカンファレンスはできていない。 | 家族から運営に関する意見や要望をゆっくり聴くことができるカンファレンスの機会を定期的に設ける取り組みを期待する。 |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 月に一度のカンファレンスにて意見や提案など聞いています。また、重要なことは連絡ノートに記載することでスタッフ全員が理解出来るようにしています。                  | 月に1回ケアカンファレンスでは、職員は利用者個々の状況を話し合うだけでなく、運営に関する要望なども話し合っている。また、管理者は日々の活動の中でも職員から意見や提案を聴き運営に活かしている。                      |  |
| 12 |     | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | スタッフ一人一人が働きやすい環境を作るため、職場の就業条件の整備を行い、向上心をもって働くことができるよう努めています。                             |  |  |
| 13 |     | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 月一度のカンファレンスにて認知症の研修を行っています。またその時に必要な課題(食事について・感染症など)の研修も行っています。新人職員には先輩職員によるOJTを実施しています。 |  |  |
| 14 |     | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 郡山市・安堵町の定期的な交流会に参加し、意見交換を行っています。   |  |  |

| 自己                       | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|--------------------------|-----|---|---|--|-------------------|
|                          |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |   |   |  |                   |
| 15                       |     | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前は必ず自宅や入院先の病院にて面談し、丁寧な説明を心がけています。入居時は不安やストレスを軽減できるようにスタッフが寄り添い、安心してホームの生活に慣れていただけるよう支援しています。        |  |                   |
| 16                       |     | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 相談、問い合わせの際、困っておられる事を聞き、当ホームで出来ることを話し合い、相互の信頼関係を作っている。   |  |                   |
| 17                       |     | 初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | その方が、グループホーム利用が適切かどうか冷静に判断する。可能な限りご本人、相談者の話を傾聴している。   |  |                   |
| 18                       |     | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | ご本人およびご家族より生活暦や趣味などを伺うことでご本人の思い添いながら、出来ることはしていただくように努めています。また、ご本人のストレスに目し、引き出すよう心掛けています。              |  |                   |
| 19                       |     | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 支援の中で必要に応じご家族の協力を頂いています。面会にこられたときはご様子をお伝えし、ご家族の意見も伺い協議を重ねながらケアを考えています。                                |  |                   |
| 20                       | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | アセスメントでは、ご本人およびご家族よりなじみの人や場所を聞かせて頂き、職員に周知しています。入所後であっても希望があれば、ご家族の協力を得ながらなじみの人や場所との関わりをもてるように支援しています。 | 町が主催する夏祭りや敬老会などに参加し、馴染みの方と交流している。利用者個々の馴染みの場所への外出支援はできていないが、家族と一緒に外出して馴染みの店での食事や買い物をしたり、自宅に立ち寄りたりする方がいる。 |                   |
| 21                       |     | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 食事時をはじめ、団樂の時間には利用者同士の会話が楽しく心地良いものとなるようスタッフが配慮して仲介、媒介しています。  |  |                   |
| 22                       |     | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている  | サービスが終了しても相談には応じ、退所後に利用されるサービス事業者の要請等あれば協力するなど必要なフォローは行っています。   |  |                   |

| 自己                       | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |  |
|--------------------------|------|---|--|---|--|
|                          |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |      |   |  |   |  |
| 23                       | (9)  | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | これまでの暮らし方や習慣を尊重し、ご本人やご家族とのコミュニケーションを通して、思いや希望を伺うようにしています。                    | 利用開始時に、利用者や家族から事業所での暮らし方の希望を聴いている。また、日々の生活の中で利用者から食べたいものや行きたいところなどを聴いている。全体に元気な利用者が多く、利用者は思いや意向を直接職員に伝えている。 | アセスメント様式が病気やADLが中心となっており、利用者の生活歴や趣味特技、生きがいなども記載できるよう工夫し、さらなる思いや意向の把握に繋げる取り組みが望まれる。 |
| 24                       |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人より確認できない場合は、ご家族よりご本人の生活歴等をお聞きし、現在の生活に活かせるように努めています。                       |   |  |
| 25                       |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一日の様子をケア記録に精神状態も含めて記入しています。細かい気づきもしっかり記入するようにしています。                          |   |  |
| 26                       | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一度のカンファレンスにてケアプラン長期短期目標に対してモニタリングを行っています。ご家族より意見を伺い関係者の協力を得ながら作成しています。     | 利用者一人ひとりの暮らし方の希望や日々の生活の様子から、役割や楽しみごとなどニーズを探し、元気な生活が送れるような介護計画を作成している。月に1回職員でカンファレンスを行って、半年に1回介護計画を更新している。   |  |
| 27                       |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | スタッフが気づいたことは情報として共有できるようにケア記録及び連絡ノートに記載するようにしています。重要な内容は記録に加えて口頭での申し送りも行います。 |   |  |
| 28                       |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 新たなニーズに対し、施設内のサービスにとどまらず、地域のボランティアやご家族の力など活用しながら、本人本位の支援に努めている。              |   |  |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域のボランティア(フラダンス・民謡・ギター演奏等)の方々との交流を楽しんでいます。   |   |                   |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 月に2度の歯科往診・内科往診を受けています。往診を依頼している医療機関とは常に密な情報共有を行い、入居者の医療的な支援がスムーズに行われています。              | 事業所の協力内科医が2週間に1回訪問診療を行っている。また、随時歯科医が往診している。他の医科への受診は、基本的に家族が付き添って通院している。利用者の急変時には、併設のデイサービスの看護師が対応している。 |                   |
| 31 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 毎日の看護職のバイタル測定で異常や気になることがあれば介護職と情報共有を行います。また介護職が体調面の変化など気づきがあれば速やかに看護職へ報告、相談するようにしています。 |   |                   |
| 32 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 主治医との情報交換を行い、出来るだけ早期に退院出来るように御家族、病院関係者との連携を行っています。                                     |   |                   |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 看取りの指針・看取り同意書を作成し、往診医との連携を行い、そのような時に備えています。またスタッフのより一層の知識を得るために定期的に研修を行う予定です。          | 利用開始時に利用者と家族に看取りの指針を説明している。本人が重度化した時には、看取りの指針を再度説明し、同意書を得ている。看取りケアの方法を職員全員が確認し、協力医や看護師と連携して取り組んでいる。     |                   |
| 34 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時対応マニュアルを定位置所在としています。定期的にシミュレーションしています。  |   |                   |
| 35 | (13) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 火災時等の避難訓練以外に非常災害対策計画を作成しています。デイ・グループ合同で避難訓練も実施しました。訓練にて生じた課題を運営推進会議にて提案、協力体制依頼しています。   | 年2回、利用者も参加して避難訓練を実施している。事業所は2本の大きな河川の間であり、洪水時の浸水想定区域になっているので、洪水を想定した避難訓練も行っている。また、飲料水や食料を1週間分備蓄している。    |                   |

| 自己                           | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                              |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |   |                   |
| 36                           | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 運営理念にて「尊厳」を取り入れていることでスタッフ間において人生の大先輩としての尊敬の気持ちを念頭におきながら支援させていただいています。                            | 利用者個々の人格を尊重し、誇りや自尊心を傷つけないよう声掛けに工夫している。居室に入るときは、ノックをして許可を得るようにしている。また、排泄や入浴の介助は、できるだけ利用者の希望に沿って同性介助を行っている。 |                   |
| 37                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | スタッフが決めてしまうのではなく、ご本人の意向を丁寧に確認しながら支援させていただいています。  |   |                   |
| 38                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | お一人お一人のペースを大事にしています。ご本人が「嫌だ」とおっしゃることはせずに、出来ることを提案しています。  |   |                   |
| 39                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 身だしなみが乱れていないか気にかけて、その人らしい佇まいを大切にいただけるよう支援しています。また、2ヶ月に一度カット、毛染めに来てもらっています。また鏡を見て頂き整髪できるようにしています。 |   |                   |
| 40                           | (15) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事を楽しく頂けるように、出来るだけご利用者の希望もお聞きしながら献立を立てるようにしています。食事準備を手伝って頂けそうなおときはお願いしています。                      | 食事は、手持ちの食材と利用者の希望を聞きながら、職員がすべて手作りしている。事業所の畑で野菜を作り、利用者と一緒に収穫して食材に加えている。また、誕生日にはケーキを手作りしてお祝いしている。           |                   |
| 41                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | バランスの良い食事作りを心掛けています。また水分量確保のために、お茶だけでなくポカリスエット、コーヒー、ジュースなども提供しています。                              |   |                   |
| 42                           |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後それぞれのADLに応じた口腔ケアを行っています。また月に2度の歯科往診にて口腔内の状態の把握、清潔保持に努めています。                                   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 個々の排泄パターンやご本人の意思を確認し、排泄表やご本人の表情しぐさなどの様子を見ながら、声掛けにてトイレ誘導を行っています。                 | 元気な利用者が多く、排泄はほとんどの方が自立している。トイレ誘導が必要な方には、適切なタイミングの声掛けで誘導を行っている。利用者がトイレを利用したとき、排便の有無をさりげなく尋ねるようにしている。    |                   |
| 44 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 朝食時には毎日ヨーグルトをお付けしています。また適度の運動や日光浴などを行い、腸の活動促進を出来るようにしています。                      |  |                   |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 週2回は入浴できるように支援しています。暑い時期に汗ばむ日にはシャワーを浴びていただいたりご希望があれば柔軟に対応しています。                 | 入浴は、基本的に事業所で週2回入浴ができるよう支援している。また、週1回デイケアに通い、大きなお風呂で温泉を楽しんでいる。菖蒲や柚子を入れて、季節を感じてもらえるよう支援している。             |                   |
| 46 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | ご自身で休みたいと希望される方にはスムーズに休息できますように支援しています。またご様子・表情などをみながら、随時声掛け誘導を行っています。          |  |                   |
| 47 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 通院・往診記録を作成し、医療に関する情報は全員が周知徹底できるようにしています。また、何か服薬について疑問点があるときには薬剤師と速やかに連携を行っています。 |  |                   |
| 48 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | ご利用者の希望に添って園芸や工作、歌などの機会を作っています。また多様なボランティアの方々を楽しんでいただけるよう施設全体として配慮しています。        |  |                   |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍外気浴を希望される方には短時間でもお連れするようにしています。また家族様が希望された場合は外出支援に柔軟に対応しています。               | 最近は、新型コロナウイルスの感染予防のため、外出は控えているが、敷地内を散歩したり、隣接する畑で野菜の手入れや収穫を行っている。また、週1回のデイケアにバスで出かけるのが、気分転換のよい機会となっている。 |                   |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 基本的にホームでお預かりしています。お小遣いとしてお預かりし、毎月精算しています。ご本人が持ちたいと希望される場合は、ご家族と相談しながら本人が管理できるよう対応しています。                      |  |                   |
| 51 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 希望により電話や手紙の取次ぎを行っています。ご本人が携帯電話をもたれる場合もあり、見守りさせていただいています。   |  |                   |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者様から一番目に付く壁面に季節を感じて頂けますような製作飾りを行っており、入居者様にも出来ることは手伝って戴いています。よく歩行される方にストレスを感じられないようにフロア全体の導線を確保できるようにしています。 | 居間は北側に大きな窓があって明るく、2つのテーブル席の他にゆったり座れるソファが置かれています。壁には、季節感がある利用者の作品が飾られています。利用者はそこで一日楽しく過ごしている。     |                   |
| 53 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 入居者様それぞれにお気に入りの空間、居室があり、尊重しています。   |  |                   |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 自宅で使用されていた馴染みの家具を持ち込んでもらうようおすすめしています。安心して過ごせるよう、居室内の環境についてはご利用者の希望に添えるように考えています。                             | 居室は、1階に4室、2階に5室あり、6畳ほどの広さでベッドと洗面台が設置されている。利用者は、使いやすいテーブルや椅子、洋服ダンスなどを置き、馴染みのものを飾って生活しやすい空間になっている。 |                   |
| 55 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | それぞれのADLに応じた家具配置を継続しています。居室内にて自立して頂けるよう家具配置導線確保を行っています。  |  |                   |